事業計画書

|  |  |
| --- | --- |
| 設備を行う動機・目的及びその効果 |  |
| 計画の概要 | 設置場所(物件所在地)(車両使用の本拠の位置) |  |
| 物件の種類 |  |
| 構造・型式 |  |
| 面積・数量 |  |
| (不動産)契約・着工時期(車両等)発注・登録時期 | 契約／発注 | 令和 年 月 日 | 着工／登録 | 令和 年 月 日 |
| 支払・完了時期※完了時期は全てが完了する日 | 支払 | 令和 年 月 日 | 完了 | 令和 年 月 日 |
| 施工者・購入先(見積書等発行業者) |  |
| 資金調達方法 | 本借入金 | (A) 千円 |
| 自己資金 | (B) 千円 |
| その他(他の金融機関からの借入など) | (C) 千円 |
| 合計(支払総額) | (A+B+C) 千円 |
| 今回申請される対象融資の既往の借入金残高(申込時) |  千円 |

※(様式3号)記入要領

◎設備を行う動機・目的及びその効果

物流施設の場合

道路、交通事情、需要構造の変化など外的要因にも触れ、施設の現状と問題点及びその改善策を簡潔に述べ、今回設備のねらいを説明する。

効果はできるだけ具体的(計数的)に説明する。

福利厚生施設の場合

施設の現状と問題点、今回設備の必要性・利用見込み、収益面への影響などを説明する。

荷役機械の場合

設備の必要性、設備前と設備後の能力・能率比較、省力効果、収益面のメリットなどを説明する。

車両の場合

増車または代替と記入し、その必要性を説明する。

◎計画の概要

〇物件の種類・・・土地・建物、機会設備、車両等の別

〇構造・形式・・・土地の地目・用途、建物の構造、車両の種類・形式等

〇面積・数量・・・土地、建物の面積又は車両の台数